



市の借金（累積市債）は年々増加の一途をたどっています。

誰もが健全財政に戻さなくてはならないと考えていると思いますが、全く緊迫感が感じられません。このことは、市長の強い意思とリーダーシップが必要だと思いますので、市長の考えと、今後の減額計画を教えてください。

(60代男性)



私が市長に就任した平成11年度決算の地方債残高は586億円でしたが、その後、平成20年度決算においては、510億円になり76億円ほど減額しています。この510億円の中には、臨時財政対策債（国から地方自治体に分配する地方交付税が足りないため、不足分の一部をとりあえず地方自治体に借金させる地方債）が62億円ほど含まれています。

私は、市長就任以降、公共および公共用施設の新規施設整備については、優先順位の厳しい選択のもとに施設整備を実施しており、市債の活用についても後年度の負担にならないように、借りるより償還することに重点をおき、市債の縮減に努めています。



以前は前日から出すことができた資源ごみの回収が、現在は当日（午前6時～8時）のみとなっている。この時間帯にごみを出せない人もいるため、資源ごみの回収時間を正午まで延長してほしい。

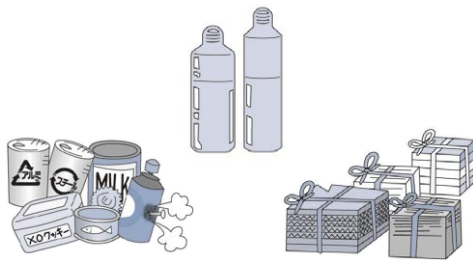
このため、資源ごみの出し方については現在の方法を継続していきたいと考えています。しかし、夜勤や子育てで忙しい方のために少しでも資源ごみを出しやすい環境をつくることも必要ですので、そのための方法として、今後、日曜日に資源ごみを受け付ける収集拠点を設けるようにします。

(30代男性)



具体的には、10月から家庭ごみに限り、毎日曜日にクリーンセンターであらゆる資源ごみを受け入れ、来年度はさらにもう1カ所、市内東部に収集拠点を設けるよう検討していきますのでご理解ください。

【改善点】10月からクリーンセンターに資源ごみの収集拠点を設けました。



私は子どものころから海育ちで海が大好きです。魚をつかんだり、アサリを採ったり一日中海で遊んでいても飽きることはなかったです。昨年は、春日浦の砂浜でアサリがたくさん採れました。みんな喜んでいました。

ところが、今年は網が張ってあり、有料だと言うのです。春日浦の砂浜は埋立ての後にできたもので、漁業補償もすんでおり、誰が海へ入ってもいいのではないですか。子どもを連れて気楽に遊べる砂浜に戻してください。

(70代女性)



形原町地先においては愛知県知事の許可のもとに、あさり、ばかがい、かきなどの漁業権が設定されており、この区域内では、一般の方があさりを採るなど漁業権を侵害すると罰せられる場合があります。

蒲郡漁協形原支所からは最近になり、心無い一部の人によりマンガによるあさりの大量採捕が続いたため漁協の被害が大きくなり、今回のように漁業権のある区域に網を張り防止に努めていると聞いています。

今では、昔のように魚貝類が豊富でなく、漁場環境が悪化しているため、稚貝をまいて養殖しないと潮干狩りもできない状況であり、漁協の皆さんが毎年真剣に潮干狩りができるよう頑張っています。

もちろん、波打ち際で遊ぶことを禁止する権限は漁業権にはありませんので、海岸で今までどおり遊んでいただくことはできます。また、網の張ってない北浜寄りの区域は、漁業権が設定されていませんので、潮干狩りなど大いに楽しんでいただきたいと思います。

